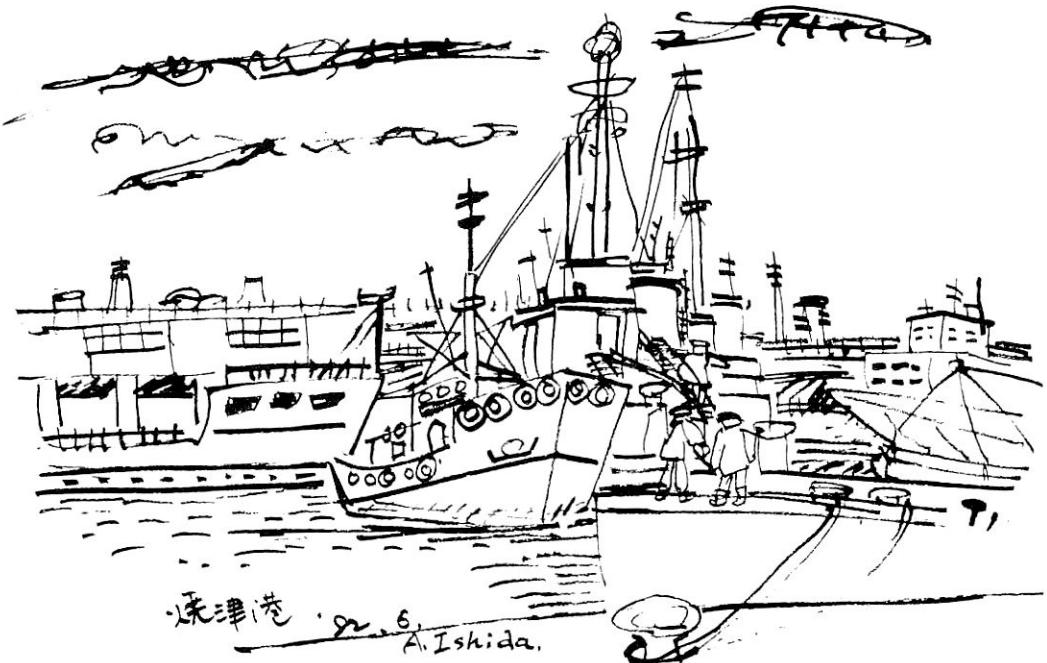




発行所  
燎原社

〒606 京都市左京区高野  
西開キ町34-11  
社団法人 部落問題研究所氣附  
電話 京都721-6108番(代)  
振替口座 京都6-15762番  
発行人  
木村 京太郎  
価額 一部 200円(元共)  
年 2,000円(元共)



焼津港

石田昭子

## 第27回 七月例会ご案内 予告

本会の七月例会は次の通り開きます。

一とき 七月十七日(土)後一時半より  
上京区北野立本寺

最近の反核運動について  
ゲスト 立本寺貫主 細井友晋師

福岡精進清水寺教学部長  
六月のニューヨークにおける原水爆

禁止国連総会に日本代表として出席の  
予定が、アメリカ政府の不当な入国拒

否で、カナダにおいて「反核」「軍拡  
反対」の世界的な大運動に参加活躍さ

れた細井有晋先生から、今回の体験を  
じかにお話しいただきます。

知友の方々お誘い合せ、多数ご出席  
ください。

一、参加費 一名五〇〇円(茶菓料)  
京都の民主運動史を語る会

「銷夏特別号」について  
のおねがい

次号八月発行の第28号を「銷夏特別  
号」の予定をしています。

例年の「暑中伺い」の名刺広告に代  
り、会員、誌友、有志の方々から、夏  
の思い出、ご近況、ご健康状態、感想  
などをハガキ通信として送って下さい。  
締切りは七月二〇日です。

なお、例年の名刺広告料の代りに、  
未納の会費、誌代、または特別カンパン  
として、ご支援御送金をお願い申上げ  
ます。

一九八二年盛夏

京都の民主運動史を語る会  
発行所 燎原社

△第26回六月例会報告△

## 共産党再建前後にについて

細川三酉

一  
書院

一九八二年六月の「第20回京都の民主運動史を語る会」は、戦前古くから党活動をされていた細川三酉氏をゲストに迎え、「標記のテーマ」でお話しを聞いた。

まづ会話を代表して北牧孝三氏から「今年は日本共産党創立六〇年に当ります。これを支えてこられた皆さん方に、その活動を話していただき、今の若い人びとに語り次いでほしいと思います。戦前、戦後を通じて本当に下積みのご苦労をしてこられた細川三酉さんをゲストに話を聴き、また皆さんからもきたんのない話を出していただいて、貴重な記録として、本会の会誌に反映したいと思います」と、あいさつ。

それから、細川氏のお話がはじまり途中、参会者から補足、質問、討論などが出され、細川氏の報告がより豊かな内容になりました。

編集部は、細川報告の部分と、討論の部分を分離し、整理して判りやすくしました。なお固有名詞など間違っていないかと、細川氏らにも見ていただいたのですが、文中お気附きの方はご指示ねがいます。

出第者（貢不同） 細川三哲、七政孝三、小卯隼臣、小川玄之介、藍谷尊  
とか仕され、細川氏の報告がより豊かな内容になりました。  
編集部は、細川報告の部分と、討論の部分を分離し、整理して判りやすく  
しました。なお固有名詞など間違っていないかと、細川氏らにも見ていただ  
いたのですが、文中お気附きの方はご指示ねがいます。

出席者（順不同） 細川三酉、北牧孝三、小柳津恒、小川広之介、塩谷賀一  
二、細野武男、楨正博、宮田栄次郎、木村京太郎、清水定平、枝浪真太郎  
稻田達夫、大道俊、城ユキ、蟹江邦彦、斎藤雷太郎、品角小文、湯浅貞夫  
石田昭子の皆さん

二敗戰前後

べ  
た  
い

敗戦が決定的となつてきた八月十九日新聞会館で、『解放運動犠牲者出獄歓迎集会』が徳田球一、竹中恒三良氏らを迎えて開かれ、これらの運動として、人民解放連盟の結成が提唱された。その時の議長は太田典礼氏であった。これが京都での最初の党的活動であるが、これに先だっての動きについて少し述べる。

過ぎに、私は意外な知らせを受けた。部はあくまで抗戦の覚悟であり、国戦になつたら、社会主義者と目され人物は銃殺すべく、そのリストを作り、リストに私の名も出ている。いう知らせであった。かつて関東大火災後に大杉栄や青共の河合君らが

された例もあり、敗戦で血迷った彼等は何をするか判らないと、一応もぐることにし京都駅に出た。京都駅も混乱していて行先不明の西行の列車に乗り姫路でのりかえたが次の列車も行先不明で満員であった。からうじて連結部にのつたが次の三石のトンネルで媒煙にむされ苦しい目にあった。岡山で降りたのが爆撃で駅舎ではなく、フリー・ペースのような有様であった。中国の山の中には十月の末までいた。帰宅するに白光会にいた川上貫一君から電報がきており、立野正一君が訪ねてきたと中はいうことであつた。早速、川上、立野君を訪ねた。

川上は戦前共に活動した竹中恒三郎を迎えて宮城刑務所行き帰途東京に寄り、京都から徳田球一氏を迎えて来るに來た小松雄一郎君らと会つた。小松君は慶應で民青の活動をしていたのと、妻君の勝子さんは竹田兄妹で戦前から活動家であり、徳球さんとは眞懇の間柄で當時宇治化学（ぶどう糖なんか造っていた）の重役であり経済的に余裕があるので、帰京後小松、竹中を中心に行再建活動をするために帰ってきたということであった。

尚、絆縛は詳しく知らないが太田典礼氏も徳球さんと合つて来られたと思ふ。太田氏は古くからの活動家でそのグループの一人の徳田義三君宅へは赤旗がはいつていた。太田氏は京都の民主党医療機関の最初の田中診療所も太田氏の創設であり、産児制限も太田リンクで有名である。竹中恒三郎、春日庄一郎君等昭和十二年検挙された共産主義者団も太田氏を訪ねて協力を申しこんんでいる、と太田さんに聞いたのだが、

三 再建活動について

話しを再建活動へ戻して、川上、立野から小松、竹中に会い、「敗戦は革命を準備する」と大きな期待をもつて再入党した。たしか七番目だったと思う。党再建については、一応人民解放連盟に組織し、その中から党にという方針であった。その年の十月二十一日に集られた人達、弁護士の小林為太郎島津の岡本傍一、京大学生の若杉光夫や、西陣の赤石らや戦前の活動家達に連絡をとった。私の知っている人々としては島津の西橋、京都機械の黒田、寿の源、電産の浅川（これは少し後だつた）またま街で朝鮮から復員してきたといふ軍のマントを来ていた絵屋君に会い活動に参加してもらった、衣棚丸太町下るの自宅を事務所に貸してくれた。解放連の事務所は川端丸太町下ルにあり和風書院（図書館）として大阪の某医が所有されていたが管理を出町の耳鼻科医の北川さんがあつておられたので頼んで借りたが、党的看板はかけられず、人民解放連盟の看板をかけ、裏で党的事務もしていた。初期、竹中が座っていたが、非党員の佐藤君に解放連盟の方はまかせきりのようになつていた。

東京の知人に相談したところ「新規事業に手を出すな」の返事を得て一応断つたのだが、資金でもと、たっての頼みに一応だけのつもりで応じたが、間に間にそれで検挙されることになったと同志の不信話をきかされた。

初期赤旗は京都でなく山科駅止になつてゐたので、彼の好意で運んでもらうことになり、河原町五条下ルの蟹江君のガレージを借り、こゝに赤旗京都支局と共産党京都府委員会の看板をかけることが出来た。こゝへは私も時々出でましたし、赤旗支局長の山内貞信君と妻君鈴子さんにも座つてもらい、稻葉辰彦君にもガリ印刷をしてもらつた。こゝには約一年程いて、延寿寺に移つた。当時の食糧事情の悪化に際して、社会進歩、自由党などに呼びかけて食糧対策委員会がもたれ、国会、知事、市長に決議書を提出した。翌年一月に京都に民主戦線を結成した。

## 四 山宣祭

又、戦後初めての山宣祭を行うことになり、河上肇先生のメッセージを頂

## 五 野坂氏歓迎大会

二月には野坂氏が帰国され、十四日新聞会館で歓迎人民大会を開いた。野坂氏の期待は大きく新聞会館は超満員となつた。野坂氏は民主勢力の統一の重要性を訴えられた。この夜は安井信雄さん宅で泊られた。

四月には戦後初めての総選挙になり、小林為太郎、安田徳太郎、太田典礼の三人を立てて戦った。その時の事務所は四条御幸町東の円山氏の宅を大坪氏の紹介で借りた。共産党が四条通りに事務所を設けたと評判になつたが斗いには敗れた。

党の拡大について 胡麻の谷口善太郎さんが絵屋宅に泊られる時に会つて参加を要請したが、体の調子も悪かつたのか、「共産党は人使いが荒いからなあ」と嘆息されており、今後どうされるおつもりかと問うたら、作家の仕事をしたいということでしたので、日本ゴリキーになって下さいと別れた。

吹田の横田甚太郎君は地域で地に活動をしているとほめられていた。記念講演は墓前祭の後、映画館で開かれた。河上先生のメッセージの朗読をする光榮に浴した。又、後日、当日をしのんで詠まれた「十七年父のみたまのみがえる今日のつどいはうれしか

りけり」他一連の短歌を山本治子さんからもらったが、これは西口さんに進呈して、西口さんの山宣の巻末を飾っている。

党活動の方は東京で第四回党会議が開かれ、京都から代議員に内山国子さんが選出された。内山さんは竹中恒さんの妹の友達であり太田グループの一員でもあつた。

年が明けて2月には再建促進党会議が開かれ小松ら十一名が選出された。これより先に、竹中君は塩谷君の引止めにもかゝらず上京して中央の仕事に移り、その後を引継ぐことになった。

## 六 分裂と病氣

昭和二十五年、レッド・ペーパーがあり、市長選に高山、知事選に蜷川をどうし社一郎君が中心にやつてくれました。

ところが党中央が二つにわかれてしまいました。私は二十四年結核になつて昭和二七年から二九年まで宇多野病院に入院しました。二七年の五月一日

「アカハタ」が再刊となり、私は宇多野病院の「赤旗支局」をつくつて党の一帯イをまいてくるので、新聞をまるで「もっていけ」といわれ、吉見と連絡しました。彼は大阪の港南地方の労働組合の指導をしていたので話がわかれました。

私は「電池の兄弟」という職場新聞を出していました。同志社の岡谷君もビラをよくまいてくれました。西村清三君の検査後の鍛紡のアジトをやつりました。

私は「友の会」をつくりました。同病院で斗病していた住谷磐君や竹内義一君などを共に……それから東山診療所につめるようになり今日に至つております。そして、地域住民の健康と安全を守るために微力をつくしています。

京都への中央からのオルグは二十一年の初めに山辺健太郎ヒゲのオッサンで小柳津さんの京滋般労働組合の桃山

貨物の争議の時など応援してくれました。又、長谷川浩も短期来ました。そして春日正一が出て来て、統率力のある人をと丹後岩瀬の人で舞鶴にいた河田賀治さんを京都に来てもらうことになりました。河田さんは私の二階に寝泊して活動しました。最初の小松君はこれまでにもかゝらず上京して中央の仕事に移り、その後を引継ぐことになった。

田賀治さんは京都に来てもらいました。又、長谷川浩も短期来ました。そして春日正一が出て来て、統率力のある人をと丹後岩瀬の人で舞鶴にいた河田賀治さんを京都に来てもらうことになりました。河田さんは私の二階に寝泊して活動しました。最初の小松君はこれまでにもかゝらず上京して中央の仕事に移り、その後を引継ぐことになった。

## 七 戦前の活動をふりかえって

今日、若い人々が大いに赤旗をよむこと、党は多くの人々と親しくして人間性に徹するつきあい、あいてをかえることが大切です。

私は、戦前、日本電池の労働者として活動しました。プロレタリア科学同盟に参加しました。昔の日本電池は西陣にあつたので辻井民之助は近くだつて活動しました。プロレタリア科学同盟に参加しました。昔の日本電池は西

旗」は友禅の図案をかいていた徳田義三がよくひいていました。無産者消費組合がありまして、こことの連絡もありました。

共産党のオルグとしてやつてきたのが秋田清次郎君でした。彼は同志社を卒後大阪の辰巳先生の影響をうけ党にはいった人で、労働者の経験はなかつたようです。

それから、大阪の吉見光凡が地下にもぐつていきました。下鴨道を「手にホ

ータイをまいてくるので、新聞をまるめて「もっていけ」といわれ、吉見と連絡しました。彼は大阪の港南地方の労働組合の指導をしていたので話がわかれました。

私は「電池の兄弟」という職場新聞を出していました。同志社の岡谷君もビラをよくまいてくれました。西村清

三君の検査後の鍛紡のアジトをやつしました。鍛紡の女工さんにもあそびにいって活動に引き入れました。昭和八年の頃がありました。







## 当面の情勢と平和運動の課題

### 一、国連軍縮総会の意義

山口正之

みなさん

まもなく第二回国連軍縮特別総会が開かれます。

本日の会合にもこの総会に参加される京都代表团のかたがた何人も出席されています。しかし、残念ながら、軍縮特別総会を前にした国際情勢は、平和とはほど遠く、現に各地で戦争の火が燃えあがつている状況です。フォークランド戦争があり、イラク戦争があり、アフガニスタンでも戦闘がつづいており、ボーランドの情勢は依然として緊張しています。カンボジアの流血もまだ終わらず、エルサルバドルでも反共軍事政権と解放勢力との武力抗争が激化しています。

これらの局地戦争が、いつ超大国まで巻きこんで第三次世界大戦に、破滅的な熱核戦争に、発展するかもしれないという緊迫した情勢のただなかで、私たちは第二回国連軍縮特別総会を迎えるとしているのであります。

考えてみますと、国連で三分の二を占める非同盟諸國の力で、国連史上はじめての軍縮特別総会が一九七八年五月に開かれてから今日までの四年間、国際緊張は激化の一途をたどるのみでありました。翌年の一九七九年には、イラン革命の勝利につづいてアメリカの裏庭ともいいうべき中米でニカラグア革命が勝利し、アメリカの帝国主義的

世界的支配は相次いで手痛い打撃を受けました。そこへ追い打ちをかけるよう、この十二月、アフガニスタンへのソ連の武力侵入が始まっています。

今ヨーロッパをゆるがす大問題に発展しているNATO理事会の二つの決定、すなわち、NATO加盟国の実質年率3%での軍事費の拡大、およびパン・イラク戦争があり、アフガニスタンでも戦闘がつづいており、ボーランドの情勢は依然として緊張しています。カンボジアの流血もまだ終わらず、エルサルバドルでも反共軍事政権と解放勢力との武力抗争が激化しています。

これらは、同じ十二月のことです。

ます。

○

年が明けて一九八〇年一月、危機感を深めたカーター政権は、年頭教書で「カーター・ドクトリン」を発表し、緊急展開部隊の創設など一連の大軍拡計画に乗りだし、国際緊張を新しい段階にまで一挙にエスカレートさせるに至りました。さらに昨年一九八一年になると、超タカ派のレーガン政権が登場し、カーターの大軍拡計画はさらに拡大され、大統領自ら公然と限定核戦争もありうるとのべるなど、急速に有事即応、実戦体制が強化されるようにあります。現在アメリカ議会に提出されている一九八三年会計年度予算では、ベトナム戦争最盛時を上まわって、総予算の三分の一を軍事費が占めるという事実上の戦時予算になつておらず、文字どおり平和時としては史上空前の大軍拡計画がおし進められています。ボーランドの軍事戒厳令の施行であります。ボーランド情勢の悪化は、ヨーロッパの諸国民にとっては、直接に戦争の脅威を意味します。この前回の第二次世界大戦も、一九三九年八月ドイツのボーランド侵入が引き金となります。

今ヨーロッパをゆるがす大問題に発展しているNATO理事会の二つの決定、すなわち、NATO加盟国の実質年率3%での軍事費の拡大、およびパン・イラク戦争があり、アフガニスタンでも戦闘がつづいており、ボーランドの情勢は依然として緊張しています。カンボジアの流血もまだ終わらず、エルサルバドルでも反共軍事政権と解放勢力との武力抗争が激化しています。

これらは、同じ十二月のことです。

ます。

○

このような国際緊張の激化、軍拡戦争政策のエスカレーションの一般的な背景となつてゐるのは先進資本主義諸国であるか发展途上諸国であるかを問わず、また、社会主義諸国も巻きこんで、ますます重大になつてきております。

○

日本のはあいも例外ではなく、消費不況の深化、巨額の税収不足の発生などにみられるように、一時期盛んにふりまかれていた「日本経済上出氣論」もとに生れを失なつてきている状況で、O E C D 加盟国だけで失業者はすでに二千万人を越え、まもなく三千万人に接近しようとしています。このは

会理事会に提出した報告書は、この状

態がつづけば一九三〇年代の再現になります。

可能性があると警告しているほどであります。一九三〇年代の世界経済恐慌のなかから、日本軍国主義の中国侵略、ムツソリニー・ファシズム、ヒトラー・ナチズムの台頭が始まり、ついに第二次世界大戦の破局への突入になつたことを考えますと、現在の事態は真に容易ならぬものがあるといわなければなりません。

○

みなさま

しかしながら、一九三〇年代からすでに半世紀が経過しています。この間に大きな歴史的变化もまた発展しています。第二回国連軍縮特別総会を迎えた最近の状勢のもう一つの大きな特徴は、これまでの歴史で例をみないような強大な反戦平和運動の盛上がりがあるということです。昨年来、ヨーロッパ平和運動の発展が世界を揺がせていることは、みなさんも御存知のとおりであります。アメリカの週刊誌『ニューズ・ウイークリー』は「一九八一年はヨーロッパ平和運動のルネッサンスの年」として歴史に記憶されるであろう「それはヨーロッパの政治的前提を変えてしまった」と書いています。実際、たとえば西ドイツでは、平和運動の高揚、ドイツ国民の反核・反戦意識の高まりの結果、レストラント、バー、ディスコなどで「米兵立入禁止」の標札をかけろと/orが増えるとか、米兵の寄宿を拒否する動きが強まるとかいった傾向が拡大しており、西独駐留二五万の米軍は、外出して自由にビールを飲むこともできないような窮屈に追いかめら

れでいるのであります。

○ 戰域核ミサイルの配備についての一  
九七九年十二月のNATO理事会の決  
定は、オランダ政府をはじめヨーロッ  
パ各国の政府と国民の反対によって事  
実上空文化される危機に面している有  
様です。あきらかに、ヨーロッパ平和  
運動は、第三世界の非同盟運動と並んで  
米ソ二超大国の力の政策と対抗で  
現実的力をもつた新しい国際政  
治勢力として登場してきたということ  
ができるように思います。

ヨーロッパ平和運動は、昨年十二月  
のポーランド軍事戒厳令という打撃も  
乗り越え、さらに新しい発展をみせて  
います。とりわけ、イギリスのウェー  
ルズ州やロンドン市など、相次いで非  
核地帯・非核都市宣言を行なうところ  
が続出しています。最近では、ほかで  
もなくNATO総司令部の所在地である  
ベルギーの首都ブリュッセルが非核  
都市宣言を行なっています。

○ とりわけ注目されるのは、今年にな  
つてヨーロッパの反核・平和運動はつ  
いに大西洋を越えてアメリカ全土に燃  
え拡がってきているということであり  
ます。民主党のケネディ上院議員と共に  
ハットフィールド上院議員との  
超党派共同提案による「核兵器即時凍  
結・段階的削減」の決議案は、すでに  
上下両院議員一九〇名の支持を集め  
ています。最近の世論調査でも、アメリ  
カ国民の圧倒的多数が「即時凍結」を  
支持しています。さらにバーモント州  
を皮切りに、多くの州や市町村自治体  
で「核凍結」支持の決議が行なわれて  
います。

きています。とくにカリフォルニア州

では、ある一人の平和活動家の奮闘の  
結果、短期間に「核凍結」支持の署名  
数が七〇万件に達し、ついに十一月の  
上下両院の中間選挙と同時に、「核凍  
結」の可否を問う州民投票が行なわれ  
ることが、すでに決定しています。カ  
リフォルニア州はアメリカ最大の州で  
あり、レーガン大統領の出身地であり、  
ロッキー社によるライデン製造  
が行なわれるなど軍需工業のメックカと  
もいうべきところであります。ここで、  
核凍結・段階的削減の運動がこれだけ  
の影響力をもつていることの意味は、  
きわめて大きいことができると思  
います。

四月の「グランド・ゼロ（爆心地）  
週間」には実際に一千二百万人が参加し  
たといわれ、アメリカの反核・軍縮・  
平和運動は、すでにベトナム反戦運動  
の規模を越えるに至っています。本年  
十一月の重要な中間選挙でもこの問題  
が政治的争点になる可能性が急速に強  
まっています。

ニューヨーク・タイムズに、世界的に著  
名なジャーナリストであるジエームス  
・レストンは書いているのであります。

○ レストンは民主党中道派ともい  
うべき思

想傾向の人で別に革新的な人ではありません。その保守的なレストンでさえ、

は国連本部からセントラル・パークに

至る日本代表を含む各国民共同の核兵

器反対大デモンストレーションが行な  
われることになっています。

○ このようにみてきますと、原水爆禁  
止を求める日本の声は、ついに、地球  
全体を蔽う世界の声になつたといふこ  
とができるでしょう。四月四日号の『

ニューヨーク・タイムズ』に、世界的

に著名なジャーナリストであるジエームス・レストンが「新しい廃止論者」

という文章を書いています。それによ  
ると、レストランはつきのようなことを  
言っています。かつてアメリカに奴隸  
制廃止論者がいた、かれらは最初はさ  
わめて少数であり、多くのものから現  
実を知らない観念的理想的主義者だと冷  
笑されていました。しかし彼らの影響力  
は次第に拡大し、四〇年間を経過して、  
ついにリンカーン大統領の「奴隸解放  
宣言」として結実するに至った。

○ いまや新しい廃止論者が現代のアメ  
リカに登場してきた。今度廃止するの

四日から始まるベルサイユ・サミット  
に出席するのを機会に、大統領就任以  
来はじめてのヨーロッパ訪問に出かけ  
ます。七日にイタリアのローマからイ  
ギリスのロンドンにまわり、一〇日に  
ボンで開かれるNATO首脳会議に参  
加し、そのあと西ベルリンを訪問する  
予定になっています。もちろん、ヨー  
ロッパ平和運動は手ぐすねひいて待ち  
構えています。レーガンはローマで、  
ロンドンで、ボンで、大規模なデモの  
もうべきところであります。ここで、  
核凍結・段階的削減の運動がこれだけ  
の影響力をもつていることの意味は、  
きわめて大きいことができると思  
います。

○ リストンは書いているのであります。  
○ レストンは民主党中道派ともい  
うべき思  
想傾向の人で別に革新的な人ではありません。その保守的なレストンでさえ、  
は国連本部からセントラル・パークに  
至る日本代表を含む各国民共同の核兵  
器反対大デモンストレーションが行な  
われることになっています。

○ 大体以上のようなことをジエームス  
・レストンは書いているのであります。  
○ レストンは民主党中道派ともい  
うべき思  
想傾向の人で別に革新的な人ではありません。その保守的なレストンでさえ、  
は国連本部からセントラル・パークに  
至る日本代表を含む各国民共同の核兵  
器反対大デモンストレーションが行な  
われることになっています。

○ こうして、第二次大戦が終了して三  
十七年目を迎えて開かれる第二回国連  
軍縮特別総会は、一方では核戦争実戦  
体制の急速な強化、他方では人類史上  
空前のスケールでのグローバルな反核  
・軍縮・平和運動の壮大な発展、とい  
う二つの道の選択をめぐる歴史的闘争  
の重要な戦場になろうとしています。

○ さりに注目すべきは、七〇年代に世  
界を揺がせた第三世界の反帝・民族独  
立・非同盟運動の高揚のあとを受けて、  
八〇年代に入るとともに、ヨーロッパ  
・アメリカのもつとも発達した資本主  
義諸国内部から、超大国による世界  
支配体制とそれを支える核戦争政策に



## 浅川憲治君を悼む

小生僧侶でありました折は、新京極の誓願寺、長岡京市の光明寺で俳句等で多くの友を得、戦時中の僧侶が平和の道を説かずに戦争に協力したので、

平氏とは、大衆活動の会合でよく逢つておられます。

現在では参議の神谷信之助氏とは上京の折りよく会い、さらに吉田市議になり京都都市に参ります。同封の通り小生も札幌市職員時代、さらに同市議になり京都都市に参ります。

した折、山田氏とよく往時を語つたものです。現在では参議の神谷信之助氏とは上京の折りよく会い、さらに吉田市議になり京都都市に参ります。

小生僧侶でありました折は、新京極の誓願寺、長岡京市の光明寺で俳句等で多くの友を得、戦時中の僧侶が平和の道を説かずに戦争に協力したので、

（札幌市）

昨年以来、南病院で入院加療中の、本会員浅川憲治君は六月二五日午前〇時肺ガンのため永眠された。享年八三才。

君は明治三一年八月奈良県河合村に生れ、大正年間から水平社運動で活動、戦後、京都における人民運動に参加、現在「京都東九条生活協同組合長」として、また、「京都解放運動旧友クラブ」「民主運動史を語る会」のメンバーとして、多くの僚友から親しまれている。

六月二七日午后一時からの告別式には多数の旧友、同志の人びとが参列、永遠の別れを惜しみました。

炎熱の候、会員、誌友の御自愛をお祈りします。

○  
みなさん  
○  
世界GNPの一%を占有し、最強の

## 会员誌友だより

## 『嵐の中の赤いバラ』公演

北海道 和田義秋

『燎原』御恵送有難う。No.二〇号拝見して驚いています。

三十周年になります。

# 京都で第28回日本母親大会

## みんなの力で大きく成功させましょう

山本二千子

### 一、行動せずにいる母親

核戦争の危険が「まさか」ではなくなってきました。平和を願うすべての母親の心のあかしとして、核戦争から子どものいのちを守るため、立ち上がった時がきました。

今から二十八年前、母親たちは子どもを背負って、ミルクやおむすび、おむつをつめた袋を手に、夜行列車で東京へ集つたのが第一回日本母親大会でした。「食べるものがなくて、山へ行ってフキをとってきて子どもに食べさせています。親はひもじくても、子どもには食べさせているのです」といながら炭鉱のお母さんは訴えました。「いいたいことがいっぱいあるのに、ここに立つと何もいえません」と声をつまらせました。会場からは「わかったよ。わかったよ」と声がとび、瞬間、割れるような大拍手が起こりました。

### 二、男性の強いご協力を

第十九回大会を京都で迎えた時は、塙川知事を先頭に、府下の各自治体をあげ、各団体の男子も総力をあげて成功させてくださいました。ことは近畿開催となり、七月三十一日は大阪で分科会、八月一日は京都で問題別集会、八ヶ所と、円山音楽堂で、二部制の全体会。そのあと円山から市役所まで母親行進をします。今年は知事選があり、はたらく婦人集会がありして、京都の運営委員会はその大へんな中で奮闘しています。

あと三十日。まだ日本大会が京都に来るなどを知らない人たちに、一刻も早くそれを知つたとき、早く盛り上げていきたいと必死になつて、塙川先生いまは亡きあとの京都を、全国の母親は心を痛め、早く灯台の火をふたゝびかゝげてほしいと望む、熱い心を京都に向けて集つてきます。どうか、第十九回の時のように、京都の男性の大きなご協力、ご賛助を心からお願い申し上げます。

### 三、近畿を平和のとりこに

私は先日、仁和寺の裏山に建てられた府立ろう学校へ行きました。分会の先生たちと、ろうあ協会など、障害者は見ぬくようになりました。また、綾部市上林の里に府立いこいの村いま私たち運営委員は、各団体まわりをしてご賛同をひろげに歩いています。そこでは「二度と暗黒時代に引きもどしてはならない。力をあわせましょう」とげきりしてくださいます。

### 金権腐敗の地で

会員だより

前略、今春南区の九条住宅よりこちらへ移転しました。今後会誌の発送・

御連絡などよろしくお願ひします。

先般の「赤旗」消息にて、部落問題

研究所新事務所建設移転の由お喜び申

上げます。遅れましたが、所屋新築カ

ンバと本年度会費を併せ振替口座に払

い込みました。御活用下さい。

千葉には金権腐敗の素地あふる、地

との印象が強い所ですが、心ある人び

との地道な活動もまた徐々に浸透し

、あり「京都に続け」の合言葉で励み

合いがんばっています。

私も子係の小学校 P.T.A 活動を通じ

父母、教師の方々と改善に声をあげ、

徐々に成果をあげております。

京都の方々と共に千葉にも革新の息吹きをひろめたいと存じています。

(習志野市津男沼二の二三の二二〇二)

らみを一つ一つ打ちくだいて、子どもたちを守るために立ち上がっています。塙川さんが私たちを見つめいらっしゃると常に思っています。府民を守ることに命をかけておられたことを常に思います。私たちはそれに応えねばなりません。その大きな足跡がこんどの日本大会です。どうかみなさま、温かいご援助を重ねてお願い申し上げ筆をおきます。

(第28回日本母親大会運営委員)

都に来るなどを知らない人たちに、私たちを守るために立ち上がっています。塙川さんが私たちを見つめいらっしゃると常に思っています。府民を守ることに命をかけておられたことを常に思います。私たちはそれに応えねばなりません。その大きな足跡がこんどの日本大会です。どうかみなさま、温かいご援助を重ねてお願い申し上げ筆をおきます。

あと三十日。まだ日本大会が京都に来るなどを知らない人たちに、一刻も早くそれを知つたとき、早く盛り上げたいと必死になつて、塙川先生いまは亡きあとの京都を、全国の母親は心を痛め、早く灯台の火をふたゝびかゝげてほしいと望む、熱い心を京都に向けて集つてきます。どうか、第十九回の時のように、京都の男性の大きなご協力、ご賛助を心からお願い申し上げます。

あと三十日。まだ日本大会が京都に来るなどを知らない人たちに、一刻も早くそれを知つたとき、早く盛り上げたいと必死になつて、塙川先生いまは亡きあとの京都を、全国の母親は心を痛め、早く灯台の火をふたゝびかゝげてほしいと望む、熱い心を京都に向けて集つてきます。どうか、第十九回の時のように、京都の男性の大きなご協力、ご賛助を心からお願い申し上げます。

◇年輪記  
(三)

## 日雇労働生活の三ヶ年

北牧孝三

### 関東大震災の波紋

関東大震災は関東に多くの困難な波紋を残していく。

東京帝国大学も、被害の大きかった一つで、全学舎は破壊され、学生は学ぶ場を失なった。しかしながら最高の教育学府でもある関係で、立派に再建されたとはいって、当時は困難な事業であったに違いない。再建を見るまでには、教授陣や学生諸君のみならぬ運動と団結した努力に負うところが大きい。

### 労働セツルメントの建設

本所の柳川町にある労働セツルメントの建設もその事業の一つであった。

弘巣太郎氏らが中心になり、学生諸君の協力のもとに組織的に進められ、同年の九月に開館を見ることができた。資金は全国各地から、東京大学救援金としておくれてきた資金の中から、百万円（当時では大金）が充当されて建設されたのであった。六六平方メートルの二階建労働会館であった。労働学校、幼稚園、医務所、図書部、調査部、成人教育部が設置されていた。

講師は穂積、末弘、平野、福島の諸先生で、時には学生諸君であることもあつた。責任者は中村治志氏で、長屋、手里、中野、枝吉等の若い学生諸君に魅力を感じたものだった。

隨想

### 戦争と平和

斎藤雷太郎

震災が残した国民への影響は大きく、東京の労働者街といわれる押上地区は労働市場だった。毎朝労働を売る日雇労働者が、数百人仕事を求めて押しかけている。私も其の中の一人だった。人間の労働力を人間が取引する労働市場、一人一日の賃金は四十銭から五十銭位で、労働力が売れなくて仕事からあぶれた時は、木賃宿をさがしてうろうろした。一夜の宿泊費は二十銭位だった。

働き口のなかつた婦人労働者の中には龜井戸へ行く人もいた。龜井戸は春婦がうようよしているので、その仲

全世界の国民が平和を願い、軍備に抗議する反核運動が世界的な規模に広まつた。この現実に米、ソ、欧、の政

略に耐える戦力維持も必要とすれば、相手も同じ考え方を持つことを忘れてはならぬ。

核兵器の高度化、多様化は核軍縮の実現を困難にしている。軍縮や核凍結で、相手が有利であつてはならぬ。それが米、ソ、の腹の内であろう。だが自国の有利な条件で、軍縮や核凍結の話し合が成功するわけではない。

「十分な通常戦力と核兵器を維持」するための支出が膨張して、自由の経済、社会の安定をさまたげる恐れがある。それをさけるために、軍事支出をへらす、これが出発点であると思う。

米、ソ、は防衛を口実に、軍備拡張を実行して来た。その結果が今日の状況である。何時かはこれをあらためる日は當

### 労働力の取引市場

震災が残した国民への影響は大きく、東京の労働者街といわれる押上地区は労働市場だった。毎朝労働を売る日雇労働者が、数百人仕事を求めて押しかけている。私も其の中の一人だった。人間の労働力を人間が取引する労働市場、一人一日の賃金は四十銭から五十銭位で、労働力が売れなくて仕事からあぶれた時は、木賃宿をさがしてうろうろした。一夜の宿泊費は二十銭位だった。

働き口のなかつた婦人労働者の中には龜井戸へ行く人もいた。龜井戸は春婦がうようよしているので、その仲

本所、深川や日暮里の中小労働組合を訪問して組合の組織化をはかつていつた。

（つづく）

### 科学的社会主义を学習

このような時期に東大の新進教授や学生の援助によって労働セツルメントが建設されたということは、生きる道を開くことでもあった。進歩的な教授や学生から資本主義経済学を学び、私たちはしらぬ間に科学的社会主义への道を歩いていた。日雇労働者としての三ヶ年は、社会主義への学習の三期でもあった。私たちは労働学校の学習と運動とを統一するために、日曜日には運動とを統一するために、日曜日には本所、深川や日暮里の中小労働組合を訪問して組合の組織化をはかつていつた。

間にまぎれこむためだつた。

仕事からあぶれ野宿する仲間もありれていた。

然に来る。

全世界の人々は、はてしない軍拡と核開発に、大きな不安を感じて平和のために立ち上つた。それが大きな環になつて、地球を取りまく程の環に広がつた。ネズミは舟の危険を予測すると云うが、全世界の人々がこれ程の規模で立ち上つたのは、人類の滅滅にもなりかねない軍拡競争を、世界大戦の準備と感じたからであろう。

アメリカの自動車工場は、火の消えたような状態と云われている。ソ連の脅威をあおつたお蔭でもあるまいが、ロスアンゼルスの有力兵器メーカーの工場は、活気があふれているとのことだ。武器輸出にも話題を求めている。大国のエゴと云うべきか。平和と民主主義を愛すると云われる。アメリカのイメージとは、結びつかない姿である。

平和憲法、非核三原則の日本にも、変形の爱国者がいる。生き残りの軍国主義者と手を結んで、ソ連の脅威をおり、アメリカの軍拡政策に歩調を合わせて、日本の軍備増強を強調している。反核運動は、反米的になりかねぬ、ソ連を利用するから自肅するよう、こんなご宣託がカク集団から出たとやら。権力や金力に目のないカク集団と、平和を愛する反核集団とのたたかいは、この国でも始つていて。

### 京都の戦争展

入場無料  
8月3日(土)~10日(午前9時~午后5時)

岡崎京都市勧業館にて

82 平和のための  
(1982・6・21)

## 目で見る京都民主運動史

### 高揚する農民運動

(5)

湯浅貞夫

農に生れて農に生き  
土に親しみ 土に死す

土の香りに抱かれ  
汗と涙に活くるなる

我が生活は悲壯なれ  
我が生命は腕と足

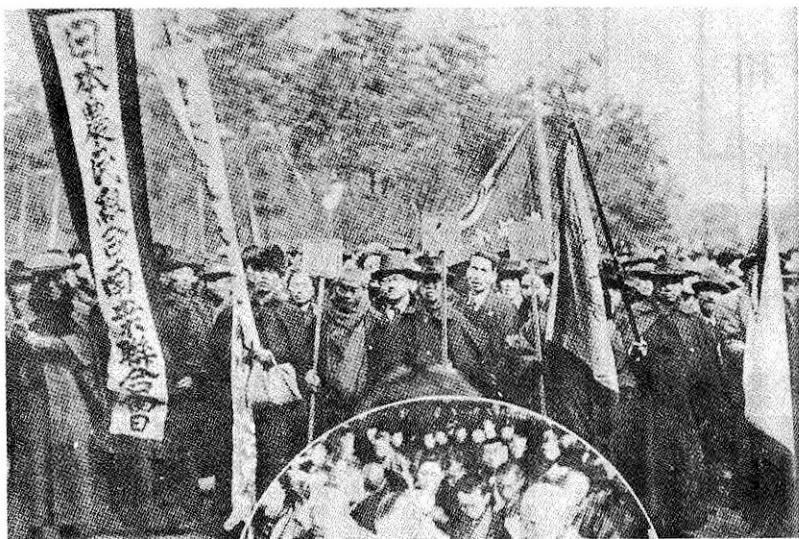
(日本農民組合歌)

戦前秋になると小作農民は収穫の半分以上を地主に納入させられた。二月三日になれば食う米がなかつた。娘を売り、若者は兵隊に行かざるを得なかつた。京都では明治二〇年代に紀伊郡(伏見)に小作人組合ができと記録にあるが、本格的な農民組合に発展したのは大正七年である。米騒動のあと、小作争議は、小作料減免、土地取上反対耕作権確立の斗争となり、一九二二年(大十二)「日本農民組合」の結成へ

と進んだ。京都の農民組合は三十九支部四〇五名をかぞえ一大勢力となつた。農民の政治意識も高揚し、一九二五年(大十四)には労働農民党(大山郁夫)

結成の土台ともな  
った。

一九二七年(昭二)普通選挙の前  
に丹波補欠選挙には労農党の山本宣治が立候補し、この時は負けたが翌年の普選には政



第3回 日農大会

(上) 写真説明  
一九二三年四月九日、神戸市キリスト教青年会館で、二府三県の代表が集つて

友会京都支部長、長田桃蔵(奈良電社長)をたたき落して山本宣治は当選した。その年、日農と全日農とが合同して全国農民組合ができ、京都府連委員長は森英吉、木村忠一、小野治三郎、

榎田貞次郎などが選ばれ、労働運動と共に農民運動は高揚した。

(中) 開かれた「日本農民組合結成大会」の新聞記事。  
(下) 一九二四年二月末から三月にかけて大阪市天王寺公会で開かれた「日本農民組合第三回大会に参加の日農南桑連合会の人びと」。

一九三〇年(昭五)南桑河原林村(現龜岡市)での小作争議は激烈をきわめ、立毛差押え。立入禁止、公判斗争にまで発展。当時の農家の庭の柿の木につるされた大ポスター

日時、十月十七日午後七時、亀岡公会堂において「農民大会と大演説会、主催、河原林争議団、後援全農京都府連合会、その下に「百姓の守り本尊農民組合に入れ」と書かれている。



河原林の小作争議